

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

おうちでイチゴ狩りができる!?! 子どもから大人まで大人気!～イチゴ～

スーパーで購入することが多いイチゴも、家庭菜園で栽培することができますので、一度挑戦してみたいかがでしょうか?

作型目安

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
露地栽培	▲							■ ■	■ ■
トンネル栽培	▲				■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		

▲ 植え付け ■ 収穫 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ マルチ・トンネル被覆

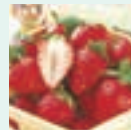
栽培の
ポイント

- ・イチゴの根は肥料焼けを起こしやすいので、基肥は植え付ける15～20日前に施し、土に良く馴染ませましょう。
- ・肥料の多用は、花芽が付にくくなりますので注意が必要です。
- ・イチゴは、実の付く方向が決まっていますので、植え付け時は、ランナーの切り跡を収穫する通路の反対側に向けて植え付けます。
- ・葉のつけ根は必ず地上に出して、深植えしないように注意して下さい。

おすすめ
品種

最近ではたくさんの品種が出回っており、「あまおう」「とちおとめ」「紅ほっぺ」といったブランド名で買われるようになりましたが、家庭菜園では、初心者向けの作りやすい品種から挑戦しましょう。

- 宝交早生:育てやすく初心者向けの品種。病気に強く酸味があるのでジャムや加工品にも人気です。
- 女峰:昔からの人気品種。ほどよい酸味が味をひきしめておいしい品種です。
- とちおとめ:高い糖度で、濃厚なイチゴの味が楽しめる人気の高い品種です。
- 白いイチゴ:果皮が白色から淡いピンク色の「初恋の香り」、桃の香りの「桃薫」などがあります。



宝交早生



とちおとめ



初恋の香り

畑の準備

植え付けの2～3週間前に完熟堆肥2^{kg}/㎡と苦土石灰100^g/㎡、油粕300^g/㎡及び化成肥料(8-8-8)100^g/㎡を施し、よく耕します。畝幅80～90^{cm}、株間30^{cm}、畝高10～20^{cm}の畝を立てます(水はけの悪い畑では高畝にする)。

植え付け

初めて栽培するときは、ホームセンター等で苗を購入しましょう。10月下旬から11月上旬に、株元についているランナーの切り跡を畝の内側に向けて植えると花が外側に出てくるので管理しやすくなります。また、クラウン(葉の付け根)部分は、土が被らないように植え付けます。植え付け後は十分に灌水します。

トンネル

早く収穫したいときは2月以降にビニールトンネルをかけて保温します。(※トンネル内の温度が28℃以上にならないように換気する)また、雑草防止と果実の汚れを防ぐためマルチ設置も有効で、土壌の湿度や温度変化が緩やかになり、土のはね返りを防止します。

追肥

1回目は植え付けから30～40日後に、株元から10～15^{cm}離れたところに化成肥料(8-8-8)80～90^g/㎡を軽く土に混ぜます。2回目は冬越しした2月上旬～中旬(マルチをする前)に、畝の肩の部分に化成肥料(8-8-8)50～60^g/㎡をばらまき通路の土を被せます。

葉かき

冬の間は、枯れた葉だけを取り除きます。植え付け後に伸びてくるわき芽は花をつけることがあるので残しておきましょう。果実肥大期になり、ランナーが伸びてきたら早めに切り取ります。

受粉

開花期になっても低温等で訪花昆虫(ミツバチ)が来ないときは、筆の穂先で軽くなぞり、受粉させると良い果実になります。トンネル被覆の場合は、温かい日中はビニールを開け、ミツバチが飛んでくるのを待ちます。夕方には、ビニールを閉じます。

病虫害

病気では、うどんこ病、灰色かび病、害虫ではアザミウマ類、ハダニ類などの被害が発生します。

収穫

十分色づいたら果実を摘み取るかハサミで切り取って収穫します。変形果は早めに取り除きましょう。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。